

特集3 平成28年度当初予算

問▼財政課
(☎71)2210)

一般会計

平成28年度からスタートする第8次総合計画の目指す都市像「幸せつながる健康都市安城」の実現に向けたキックオフの年と位置づけ、当初予算を編成しました。

一般会計の当初予算額は、骨格的予算を視野に入れた前年度より97億円余増の729億円余となり、この予算額は、安城市政初の700億円超えとなる最大規模となっております。

◆歳入

市税は、税制改正の影響により前年度より11・2億円余減の365億円余を計上し、不足財源は、基金や市債の増により対応しています。

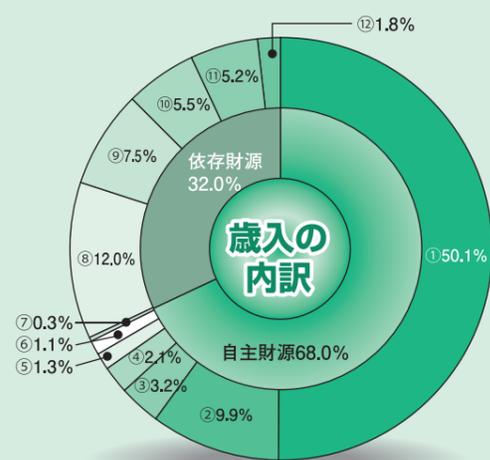
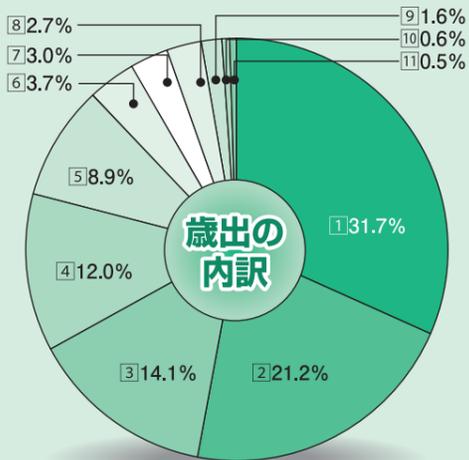
◆歳出

アンフォールの中核的な施設である図書館の建物取得費やそのシステム関連経費などで53億円余を計上し、平成29年6月のオープンに向け、精力的に取り組んでいきます。また、みのわ保育園の移転建設工事や保健センターの改修、並びにソフトボール場A球場、プラネタリウムの改修などを実施し、子育て・教育環境の充実に力を入れていくほか、中小企業支援に向けた施策も積極的に推進し、健康都市の実現に向け、着実に事業を展開していきます。

①民生費	12万4249円	⑦消防費	1万1641円
②土木費	8万3338円	⑧農林水産業費	1万499円
③教育費	5万5553円	⑨商工費	6409円
④衛生費	4万6927円	⑩議会費	2248円
⑤総務費	3万4884円	⑪その他	1881円
⑥公債費	1万4686円		

※3月1日現在の人口18万5871人で算出。

①民生費	230億9427万円
②土木費	154億9010万円
③教育費	103億2566万円
④衛生費	87億2226万円
⑤総務費	64億8387万円
⑥公債費	27億2978万円
⑦消防費	21億6375万円
⑧農林水産業費	19億5146万円
⑨商工費	11億9126万円
⑩議会費	4億1788万円
⑪その他	3億4971万円



①市税	365億5908万円
②繰入金	72億1789万円
③諸収入	23億2891万円
④繰越金	15億円
⑤使用料及び手数料	9億5101万円
⑥分担金及び負担金	7億8230万円
⑦財産収入	2億5915万円
⑧国庫支出金	87億4133万円
⑨市債	54億8900万円
⑩地方消費税交付金	39億7000万円
⑪県支出金	38億1033万円
⑫その他の依存財源	13億1100万円

特別会計

高齢化の進展により、介護保険事業と後期高齢者医療を増額としている一方、国民健康保険事業は、雇用の改善などに伴う被保険者数の減少を見込み減額としていることから、全体で1億円余の減額としています。

公営企業会計

水道事業における重要管路や老朽管の布設替えなどにより、2億円余の増額としています。

会計名	予算額	前年度比
国民健康保険	174億9500万円	-2.5%
土地取得	100万円	-80.0%
有料駐車場	2億4000万円	-14.3%
下水道	44億2600万円	+5.4%
農業集落排水	6500万円	+3.2%
桜井駅周辺特定土地区画整理	23億5000万円	-7.3%
介護保険	90億9700万円	+2.2%
後期高齢者医療	18億6600万円	+9.0%
計	355億4000万円	-0.3%

会計名	予算額	前年度比
収益的支出	29億4900万円	+0.9%
資本的支出	14億5700万円	+14.3%
計	44億600万円	+5.0%

主な事業

第8次総合計画の目指す都市像「幸せつながる健康都市安城」の5つの要素である「健康」「環境」「経済」「きずな」「子ども」に沿って紹介します。

●「健康」生涯にわたり心身ともに健康に過ごせるまち 健康都市PRのためのプロモーション映像制作やアクションプランの策定など(2309万円)、健康づくりフォーラム・体験会、ウォーキングイベントなどの開催(1120万円)、AEDの小中学校屋外への設置(633万円)、ソフトボール場A球場の改修など(2億4900万円)、体育館の大規模改修に向けた設計(3900万円)

●「環境」くらしの質を高める持続可能なまち 尿処理施設の下水道処理施設への接続・改修工事の実施(12億6730万円)、さわやかマナー活動の推進、三河安城駅周辺の喫煙禁止区域の指定など(720万円)、根羽産材を使った木づかいイベントなど(234万円)、消費生活センターの開設(34万円)、堀内公園の大型遊具の更新、3歳未満児の専用空間の整備など(6700万円)、地区公園1カ所への健康遊具の設置(300万円)

●「経済」地域の魅力、潤いと活力あふれるまち 道の駅の円形トイレの改修、デンパーク園路改修工事、園内放送設備の更新など(2億2220万円)、中小企業が実施する設備投資への補助(2億8000万円)、企業立地の推進(榎前地区工業団地)(7837万円)、アンフォールの中核的な施設である図書館の建物取得など(45億2971万円)、南明治第一土地区画整理事業の継続(16億3667万円)

●「きずな」人々が優しくつながり、支え合う安全安心なまち 追田排水区内水対策の実施(6億400万円)、マルチコプターの導入(300万円)、人口集中地区への感震ブレイカー設置補助(300万円)、文化センター大規模改修に向けた設計、プラネタリウムの改修(1億7300万円)、図書館のシステム構築や情報機器の整備など(9億2643万円)、地域包括ケアシステムの構築(2億4830万円)

●「子ども」子どもたちを豊かに育むまち みのわ保育園の移転整備(8億9353万円)、(仮称)子ども発達支援センター整備に向けた設計など(3529万円)、保健センターの改修(7億450万円)、安城市版ネウボラの推進(妊娠期からの切れ目のない支援の実施)(新規分137万円)、少人数学級の推進(小学4年生への拡充など)(1億947万円)、スクールアシスタント制度の創設(6588万円)、茶臼山野外センターの改修(1億3370万円)、小中学校校舎・体育館のトイレ改修(5億2730万円)、小中学校へのタブレット端末などの整備(1億9240万円)、東山中学校の校舍改修(2億1814万円)

●その他 市議会のICT化推進(1171万円)、市民サービス向上に向けた市役所フロア改修(3億円)、市役所立体駐車場の整備(6億3000万円)、証明書コンビニ交付事業の実施(3200万円)